



### パラパラパラパラ

ホンシュウジカ舎の運動場を掃除している時にお客さんとの会話がよくあるのが

客「しいくいんさーん、シカの角って抜けるんですか？」

シカのオスには2本の大きな角が生えています。

飼育員「春に抜けてすぐ新しいのが生えてきますよ、シカの角は1年に1回生え変わるんです」

客「へ～ ソウナンデスネ～」

飼育員（・・・あんまりピンときてないかな）

という場面です。せっかく質問してくれたのに不甲斐ない・・・。



（この角、年1で抜け替わります）

そりゃ確かにあの立派な角が抜けてしまうというのはなかなか想像しにくいかもしれませんが。ましてや1年に1回生え変わるとは！目の前の飼育員の言動を疑うのも無理ありません。でも事実なんです。言葉だけじゃ伝わらないこの想い、どうしたら信じてもらえるのか・・・

ということでシカの角がどんな風に生えてくるのか、まずは記録を撮ってみることにしました！論より証拠！小学校の頃の日記なんて三日ももたなかった僕に、果たして記録を撮り続けることはできるのでしょうか(笑)



(モデルはこのシカ。愛称"カミ")

証拠集めに協力してもらったのはある1頭のオスのシカです。目標は角が伸び始める4月上旬から、硬くて白い角になるまで、できるだけ同じ角度で写真を撮り続けること。もちろん相手は動物なのでじっとはしてくれないしポーズも決めてくれません。なかなか手ごわい相手でしたが、なんとか無事！角が完成するまで写真を撮ることができました！



(この角度ね)

さてこの証拠をどうやって披露したらお客さんに納得してもらえるか。悩みに悩みました。ちなみに写真は70枚ほどあります。写真をバーツと全部張り出してもきちんと見てもらえるかどうかわかりません。僕なら見ている途中で多分飽きます(笑)。何か面白いアイデアはないかな～。ぱ・・・ら、パ・・・ラ・・・パラパラ・・・パラパラ漫画だ！

誰しも1度はノートの端っこに書いたことがありますよね！（僕は棒人間のストーリーを描いてました）これなら角の変化の様子も分かりやすい！ただひとつ問題は、ここはちびっこ怪獣が集まる動物園。安全かつ頑丈なパラパラ漫画をつくる必要があります。悩んだ末に匠が出した答えとは・・・

(ビフォーアフター風に)



シカ舎の展示場に現れた小さな黒い箱。そこにはシカの角の変貌を伝えたい匠の大きな大きな思いが詰まっています。



箱の名前は「幸村」。箱の上部にある本物のシカの角が、戦国武将真田幸村の兜を彷彿とさせることから、匠の巧みなネーミングセンスによって付けられました。



箱の横の赤い取っ手をまわしてみると

なんていうことでしょう

写真がパラパラと動きはじめたではありませんか。これには園長もびっくり！

<https://www.facebook.com/kaminezoo/videos/957911621230617/>

[https://twitter.com/HitachiCity\\_Zoo/status/1178211072458678272](https://twitter.com/HitachiCity_Zoo/status/1178211072458678272)

(本当はここで動画を貼りたかった・・・。動く様子は当園SNSをご覧ください)

子供がぐるぐる回しても壊れないように頑丈につくりました。(すでに2回ほど壊れましたが、完ぺきに修理したのでもう大丈夫です)

手回しパラパラ漫画の完成です！

角の成長は遊びに来てもらった時にじっくりみてもらうとして、ざっくり言うと4月に伸び始めた角は枝分かれしながら7月には形が完成します。そこから角が固くなり、9月後半には皮がむけて立派な角が完成します。そして3月後半に角が抜け落ち、またすぐに角が伸びてくるわけですね。（動物園では角が完成すると安全のために切ってしまいます。）形ができるまでは3ヶ月！ものすごいスピードで成長していきます！このように角がない期間が短いので、シカの角はずっと生えているように感じますが、「シカの角は毎年生え変わる」ということ、このパラパラマシンを回してもらえば納得してもらえないのでしょうか！！！！かなりの自信作です(笑)



（4月上旬、まだまだ生え始め）

こうしてある動物の変化をずっと撮り続けることは、動物園で動物を飼育しているからこそできることですね。私たちには身近な動物であるシカでさえ、野生の同じ個体をずっと追いつけて記録を取るのはなかなか難しいことだと思います。（近年では技術も発達して動物に小型装置やカメラをつけて行動等を記録し続けるバイオロギングという手法もありますが、技術や機材が必要ですね・・・）。今回はシカの角の変化に焦点を当てましたが、色々な発見があってとても面白かったので、ぜひ他の動物の変化も追いかけてみたいものです。これからも飼育員だからこそできる、飼育員目線の動物の面白い変化を皆さんにお届け出来ればいいなと思います。お楽しみに！！

（動物園のカラクリ博士 日野）

2019年11月16日

---

### 些細な日常の一コマから。

先日、病院に行った際に待合室で女の子とそのお母さんが動物の絵本を読んでいる場面に遭遇しました。

母「この動物はなーに？」

娘「キリンさん！」

母「この動物はなーに？」

娘「ペンギンさん！」



母「この動物はなに？」

娘「えー、なんだろう・・・」

母「動物園で見たやつだよ！」

娘「あ、カメレオン！みたみた！」

何気ないやり取りでしたが、爬虫類を担当している私としてはそれはもう嬉しくて思わずカメレオンの飼育員のお兄さんだよって声をかけたくなくなってしまいました（そこは我慢しましたが）。3歳の女の子（ちょっとお話をしたら3歳とのことでした）がカメレオンを知っていることに驚きました。でも、冷静に考えてみると本物のカメレオンを当たり前のように目にできる環境ってとても貴重なことだと思います。



<エボシカメレオン>

昨年の11月にオープンしたはちゅうるい館ですが、完成までには色々な苦労がありました。その中でも「かみね動物園に、日立市に、爬虫類館を作る意味はなんだろう」ということはとても悩みました。園内で分散飼育している爬虫類を一か所に集めて住みよい環境を提供するというのも目的の一つでしたが、それはこちら側の話であって来園してくれる皆様に何が提供できるのかが大きなテーマでした。その結論は、爬虫類ってなんだろう。カメとは、ワニとは、トカゲとは、ヘビとはどんな生き物なんだろうといった爬虫類に初めて出会う場所にしようとなりました。



<はちゅうるい館>



<苦手な人も多いヘビ>

そのためマニアックな種類を集めるよりも水を泳ぐ、陸を歩く、木に登る、地面を這う、などそれぞれの爬虫類の代表選手みたいな種類を中心に選定しました。正直、爬虫類好きの方にとってはちゅうるい館のラインナップは物足りなく感じるかもしれません。もちろん珍しい種類もいますが。



<リクガメ代表と言って良いケヅメリクガメと日本では飼育園が少ないクチヒロカイマン>

爬虫類は他の動物に比べて敬遠されてしまいがちですが、哺乳類とはまた違った面白さや奥深さがあります。展示場で耳を傾けていると、「カメさんだ」「ワニさんだ」という声が聞こえてきます。もちろん細かい種類や生態まで学んで帰ってもらうに越したことはありませんが、まずは本物の爬虫類に出会って、じっくり味わってもらうことが大切だと思っています。（ほんとに食べるわけではないですよ）その中で、興味がわいたり、発見や疑問が出てきたら飼育員に聞いてもらったり、近くの説明版を読んでもらえれば良いのかなと思います。



<病気じゃないよ脱皮だよ>

<ワニは何を食べるかな？>

はちゅうるい館がオープンしてもうすぐ1年になりますが、みなさまにとって爬虫類がもう身近な生き物になってきていることを実感しつつ、今後さらに日立市の爬虫類熱が高まるように精進してまいります！

餌用のコオロギの繁殖に命を燃やす 中本

2019年11月2日

### タヌキなの？アライグマなの？

カピ！バラエティハウスで作業をしていると、「あっ！タヌキだ！」や「レッサーパンダがいる！」という子供たちの声が聞こえてきます。

駆け寄る姿を見てみるとその先にいるのは、、、この動物です。



そうアライグマです。

姿かたちがとても似ているので本当によく間違われます。

その他にも似ているところがたくさんあります。

しかし、よーーーーく比べてみると違うところもたくさん！

そんなお話です。

## 見回目編

では、たぬきの顔を見てみましょう。



こんな感じの顔。

次にアライグマの顔を改めて見てみましょう。





こんな感じの顔。

さてよく見てみてください。違いが分かりますか？

○鼻筋

- ・タヌキは白と黒
- ・アライグマは黒のみ

○耳のふち

- ・タヌキは黒
- ・アライグマは白

○ひげの色

- ・タヌキは黒
- ・アライグマは白

~~~~~  
~~~~~

顔の次はからだを見てみましょう。

タヌキの全身はこちら



アライグマの全身はこちら





さてさて違いはどこでしょう？

○肢の色

- ・タヌキは黒
- ・アライグマは白

○しっぽの模様

- ・タヌキははっきりした模様はない
- ・アライグマはしましま模様

分かりやすそうなものをあげてみました。他にも見つけられますか？？

次回は生活編！お楽しみに♪

寒くなってきて鼻水が止まらない飼育員 にしの

2019年11月2日

---

過去の一覧

[令和6年](#)

[令和5年](#)

[令和4年](#)

[令和3年](#)